

平成23年度 社会福祉振興助成事業 事業報告会

日時：平成23年12月1日(木)

会場：くまもと県民交流館パレア9階

[会議室1]



主催：WAM 独立行政法人 福祉医療機構
運営：特定非営利活動法人 NPOくまもと

開催にあたって

独立行政法人福祉医療機構(WAM)が実施する社会福祉振興助成事業では、政策動向や国民ニーズを踏まえ、NPOや非営利任意団体等、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動等に対して助成を行い、高齢者・障害者が自立した生活を送れるよう、また、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう必要な支援等を行っています。

こうした国や地方公共団体などが行う公的な福祉サービスでは十分カバーすることができないニーズに対応するNPO等の活動に助成するとともに、WAMが適切な情報提供、助言等の働きかけを行うことによって、地域のさまざまな機関や団体等との連携や協働を深めることで助成事業の効果を最大化し、広がりが見られるよう支援しています。

そのような取組みの一環として、資金面での支援とともに、助成金によって実施された事業の中から、優れた事業について、事業の効果や活動のノウハウ等を、同様な活動を行う団体等に広く紹介・情報提供していくことが重要であると考えています。

本日の事業報告会では、長崎国際大学 学長 潮谷 義子 氏をお招きし、ご講演をいただくとともに、WAMの助成を受けて事業を実施された団体の中から、地域に密着したきめ細かな事業を行っている2つの団体に活動報告していただくこととしております。

また後半では、地域の中での連携・協働の方法など、活動を実施していくにあたって役立つポイントや、今後の計画の参考となるような工夫などを参加団体同士が相互に意見交換することにより、活動やその発展、団体間のネットワーク形成などに活かす機会となることを期待しております。

この事業報告会が、皆さまの活動のさらなる活性化や組織力の強化等に少しでもお役に立つ機会となれば幸いです。

独立行政法人福祉医療機構

プログラム

○開会あいさつ (13:30~13:40)

独立行政法人福祉医療機構

○基調講演 (13:40~14:10) …… P 1

「地域と呼応する」

長崎国際大学学長 潮谷 義子 氏 (前熊本県知事)

○事例報告① (14:10~14:30) …… P 7

特定非営利活動法人 クローバーアート

理事 野間口 壽子 氏

「障がい者アート促進のための工房構築事業」

○事例報告② (14:30~14:50) …… P16

特定非営利活動法人 ル・シエルくまもと

理事 石津 サヤカ 氏

「アスペルガー症候群の理解・支援者養成事業」

○休憩 (14:50~15:00)

○意見交換会 (15:00~16:00)

○社会福祉振興助成事業のごあんない (16:00~16:10)

○閉会

個別相談会 (希望者を対象) (16:10~17:00)

基調講演

地域と呼应する

長崎国際大学 学長 潮谷義子
(前熊本県知事)

平成23年12月1日(木)
熊本会場:くまもと県民交流館パレア

1. 今、地域は・・・

資料1: 高齢率(全国、九州・沖縄各県)

対象・県名	総数 (1,000人)	65歳以上 (1,000人)	人口に対する 割合(%)
全国	127,510	29,005	22.7
福岡県	5,053	1,111	21.9
佐賀県	852	207	24.3
長崎県	1,430	368	25.7
熊本県	1,814	463	25.5
大分県	1,195	316	26.4
宮崎県	1,132	290	25.6
鹿児島県	1,708	450	26.3
沖縄県	1,382	242	17.5

1. 今、地域は・・・

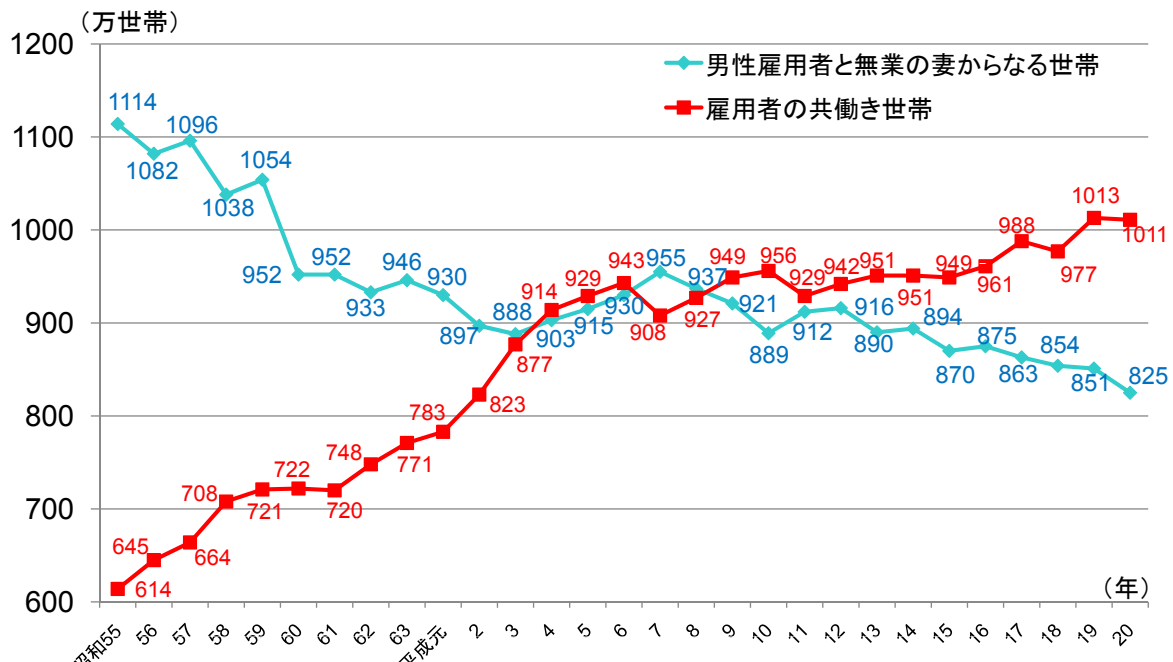
資料2: 高齢率(熊本県内市町村)

順位	市町村名	高齢化率 (%)	順位	市町村名	高齢化率 (%)	順位	市町村名	高齢化率 (%)
1	五木村	41.9	17	甲佐町	33.1	33	御船町	27.4
2	山都町	39.9	18	上天草市	32.9	34	菊池市	27.3
3	球磨村	38.3	19	相良村	32.7	35	宇城市	27.2
4	水上村	38.0	20	水俣市	32.6	36	長洲町	26.1
5	美里町	37.9	21	南関町	32.5	37	城南町	25.8
6	和水町	36.2	22	阿蘇市	32.2	38	植木町	25.0
7	湯前町	35.9	23	山鹿市	30.9	39	錦町	24.8
8	芦北町	35.7	24	玉東町	30.5	40	西原村	24.6
9	産山村	35.2	25	南阿蘇村	30.5	41	嘉島町	24.6
10	高森町	34.8	26	人吉市	30.3	42	宇土市	24.2
11	津奈木町	34.8	27	氷川町	30.2	43	益城町	23.2
12	南小国町	33.8	28	あさぎり町	30.0	44	熊本市	20.5
13	多良木町	33.8	29	山江村	29.0	45	合志市	20.0
14	苓北町	33.7	30	荒尾市	28.2	46	大津町	19.2
15	天草市	33.6	31	八代市	28.2	47	菊陽町	16.6
16	小国町	33.1	32	玉名市	27.7			

熊本県統計調査課による(2009年10月1日現在)

2. 血縁から社会的縁へ ①世帯類型

資料3: 共働き世帯の推移



1. 昭和55年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」、平成14年以降は「労働力調査」より作成。
2. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就職者の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

2. 血縁から社会的縁へ ①世帯類型

資料4: 母子・父子世帯数

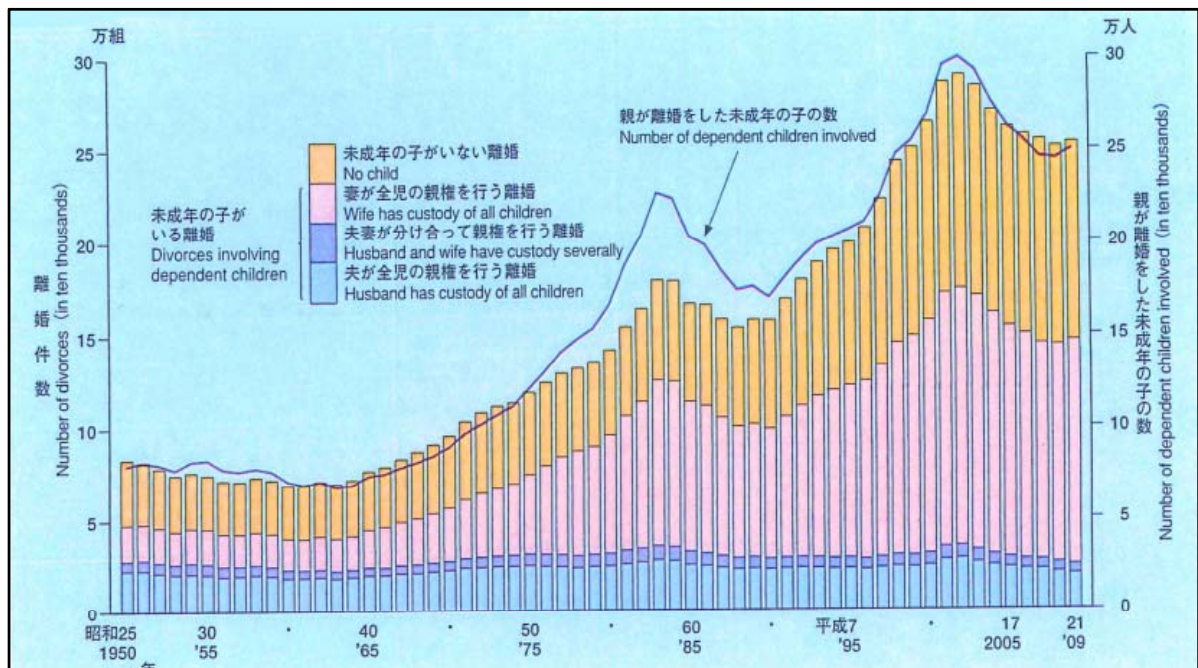
	母子世帯 ①	母子世帯 (他の世帯員がいる世帯を含む) ②	差 ②—①	率(%) (②—①)／①
平成7年	529,631	636,208	106,649	20.14
平成12年	625,904	756,805	130,901	20.91
平成17年	749,048	922,168	173,120	23.11

	父子世帯 ①	父子世帯 (他の世帯員がいる世帯を含む) ②	差 ②—①	率(%) (②—①)／①
平成7年	88,081	144,549	56,468	64.11
平成12年	87,373	149,688	62,315	71.32
平成17年	92,285	166,198	73,913	80.09

総務省 平成7年～17年「国勢調査」

2. 血縁から社会的縁へ ①世帯類型

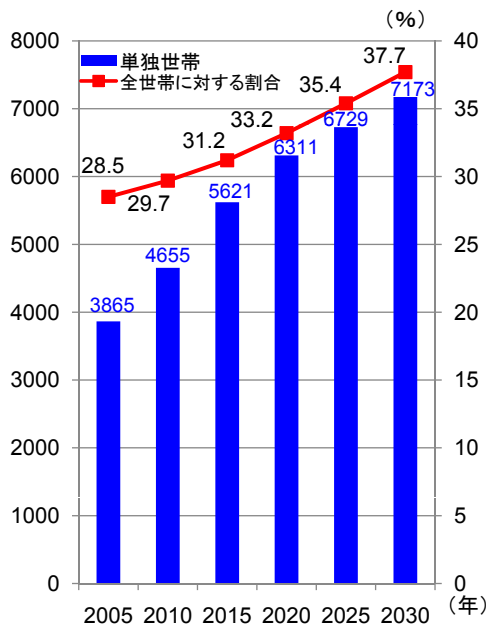
資料5: 離婚件数及び親が離婚をした 未成年の子の数の年次推移



厚生労働省「離婚に関する統計」

2. 血縁から社会的縁へ ①世帯類型

資料6:ひとり世帯 高齢世帯



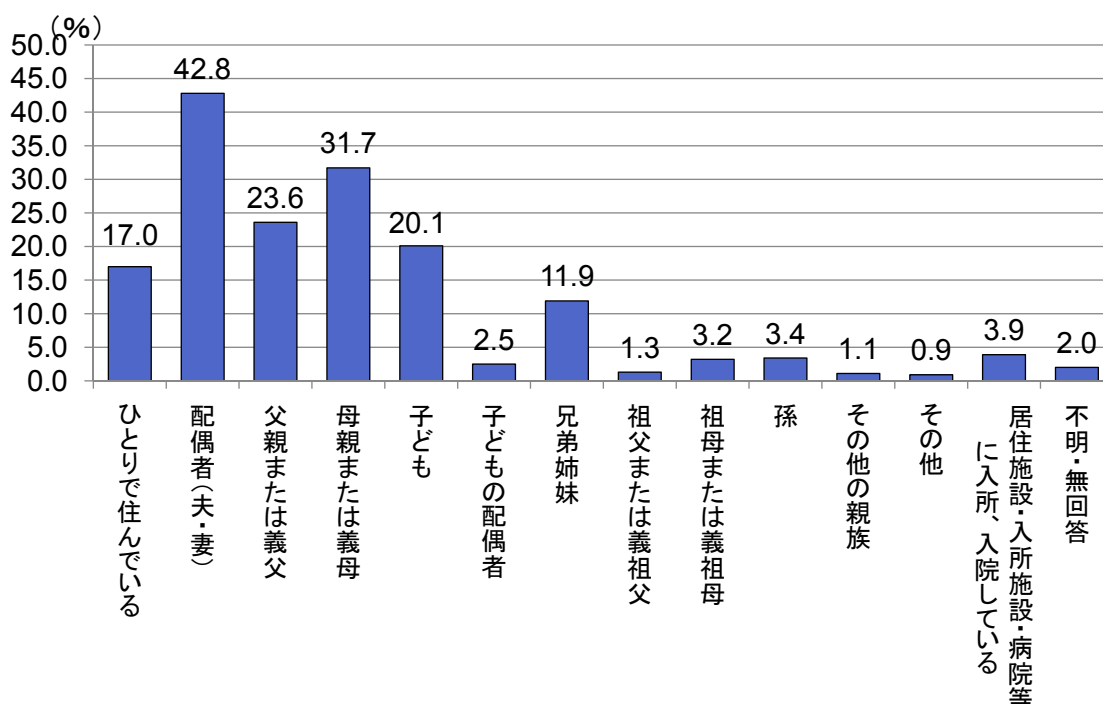
	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
一般世帯	4,906	5,029	5,060	5,044	4,984	4,880
世帯主が65歳以上	1,355	1,568	1,803	1,899	1,901	1,903
単独 (比率)	387 28.6%	466 29.7%	562 31.2%	631 33.2%	673 35.4%	717 37.7%
夫婦のみ (比率)	465 34.4%	534 34.1%	599 33.2%	614 32.3%	594 31.2%	569 29.9%

実測値: 国税調査より推計値: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計人口」より

- 老人世帯の増 { 夫婦世帯
ひとり暮らし
- 認知症増
- 高齢者医療増

2. 血縁から社会的縁へ ②障がい者世帯

資料7:障がい者の世帯構成



3. 助成は「共生」の根を養う

平成23年度 社会福祉振興助成事業 助成事業報告会
NPO法人 クローバーアート



©NPO法人クローバーアート

NPO法人クローバーアートとは



ある障がい者の絵画作品に感動したデザイナー（現理事長の甲斐浩二）が友人や知人に「障がい者の作品をアート作品として世に送りだしたい」と呼びかけて設立したNPO法人（2006年11月に熊本県認証）です。

©NPO法人クローバーアート

WAM助成をいただくまでの主な活動

2006年

12月 熊本県ハートウィークイベントに参加

2007年

10月 熊本城南大手門で「True & Live展」

2008年

2月 長崎書店で「ココロ+コトバ展」

6~7月 阿蘇白水郷美術館で「ココロ+キズナ展」

10月 「ギャラリーよつばんち」誕生！

熊本県地域の縁側づくり助成事業

※新聞・テレビなどで数多く紹介されました。

11月 くまもとハートウィーク ポスター採用

NHKハート展会場中央スペースの企画施工

県内の障がい者芸術展企画展参加



©NPO法人クローバーアート

11月~12月

CREATORS EXPO!2008(カリーノ)作品出展
障がい者福祉施設製品の販売



12月 アートと木育の融合イベント実施
マイ箸・マイスプーンづくり

(財)日本木材総合情報センター「木育活動事業」

12月 「るぴなすフェスタ」プロデュース



黒油のせっけんラベル

©NPO法人クローバーアート

WAM助成事業

平成21年度 「長寿・子育て・障害者」基金助成事業

2009年 障がい者アート促進のための工房構築事業
7月 「アトリエ&ショップよつぱんち」 整備



©NPO法人クローバーアート

10月 「子ども達のための陶芸ワークショップ」

障がい児を中心に20組の親子が参加(熊本市現代美術館)。



11月 “大城組”の小さな巨匠たち展



©NPO法人クローバーアート

見て、聞いて、触れて、感じる思いを表現した “大城組”の小さな巨匠たち展

熊本市白旗小学校特別支援学級の大師由紀子先生のもとには、アートの専らめを培った障がいのある子どもたちが学業の枠を超えて集まります。大城先生の働きにより、子どもたちは専らめを磨き、個性を伸ばし、自信を持って表現しています。NPO法人クローバーアートは、そんな“大城組”の子どもたちの作品展を企画しました。観覧は無料です。お気軽にお立ち寄りください。

期間：2009年11月1日～30日

場所：ギャラリー&アトリエよつぱんち

※休館日は11月11日(水)です。

※観覧料は無料です。

<p>見て、聞いて、触れて、感じる思いを表現した “大城組”の小さな巨匠たち展</p> <p>期間：2009年11月1日～30日 場所：ギャラリー&アトリエよつぱんち ※休館日は11月11日(水)です。 ※観覧料は無料です。</p>	<p>愛と想いの詩人 白石 一樹 さん 熊本県出身。詩人、作家、音楽家、アーティスト。障がい者に対する理解と尊重をテーマにした詩や小説を発表。著書『愛と想いの詩』。</p>
<p>夢と想いの詩人 白石 一樹 さん 熊本県出身。詩人、作家、音楽家、アーティスト。障がい者に対する理解と尊重をテーマにした詩や小説を発表。著書『愛と想いの詩』。</p>	<p>笑顔の仲間画家 宮田 洋輔 さん 熊本県出身。絵画、彫刻、デザイン。障がい者に対する理解と尊重をテーマにした作品を発表。著書『笑顔の仲間』。</p>
<p>創作活動の達人 宮田 洋輔 さん 熊本県出身。絵画、彫刻、デザイン。障がい者に対する理解と尊重をテーマにした作品を発表。著書『笑顔の仲間』。</p>	<p>創作活動の達人 宮田 洋輔 さん 熊本県出身。絵画、彫刻、デザイン。障がい者に対する理解と尊重をテーマにした作品を発表。著書『笑顔の仲間』。</p>

「河原町アートアワード2009」
白石くんの詩がハッピー桜十字病院賞受賞

21年度助成事業の効果

1. 活動の場が広がった。
2. 行政・団体・メディアからの注目と信頼を獲得でき、団体の存在、障がい者アートの認知と活用が進んだ。
3. 「心」の支援ができることと、その大切さに気付いた。

©NPO法人クローバーアート

WAM助成事業

平成22年度 地域活動支援事業

障がい者アート促進のための工房構築事業

通年 販促のための工房運営

障がい者アート事業のための(無料)相談事業

「よつばんち」がある熊本市河原町の商業組合「河原町文化開発研究所」が主催する「河原町アートの日」(毎月第2日曜日)のイベントに毎回参加。障がい者アートの作品展示および作品を活用したグッズの製作や販売に取り組んだ。

また、当日は作家の発掘および販促を目的に「障がい者アート事業のための(無料)相談事業」を工房で開催(計12回)。その後の販売促進活動へのきっかけづくりを行った。



相談件数総数 36件(月平均3件)
相談員配置 月により2~3人

©NPO法人クローバーアート

11月 障がい者アート事業推進のための研究視察



障がい者アート事業の先進的な活動をされている滋賀県近江八幡市の「ボーダレス・アートミュージアムNO-MA」(写真上)と奈良県奈良市の「たんぽぽの家アートセンターHANA」(写真下)を研究視察した。

NO-MAでは、主にギャラリーにおける作品の見せ方を、「たんぽぽの家」では、人権を重んじる中で生まれたアート事業の取り組み姿勢などについて学ばせていただいた。

©NPO法人クローバーアート

障がい者アートのワークショップ開催

8月 ライブペインティングワークショップ(24時間テレビ会場)



©NPO法人クローバーアート

9月 海のワークショップ(天草市)



シュノーケルを体験した後、海岸の石に絵を描くワークショップを行った。



©NPO法人クローバーアート

通年 障がい者アート事業販売促進のための活動



作品の販売や活用を目指し、官公庁や一般企業に出向いて、販路開拓や商談事業を行った。また、相談を受けた障がい者や障がい者支援施設と事業所を媒介するマッチング事業や障がい者支援施設の新製品開発支援などを行った。



訪問者数のべ67人
訪問回数のべ160回

©NPO法人クローバーアート

相談事業及び販売促進活動から製品化支援へ

事例1 「オリジナルタンブラー」の製品化



事例2 伝統産業の職人技と施設のスタンドグラス作品をマッチング「石あかり」として製品化をプロデュース



©NPO法人クローバーアート

チラシ制作・広告出稿・メディアでの紹介など

CLOVER ART INFORMATION
www.cloverart.net vol.1 2011 February

障がい者のアートが商品に!
毎月第2日曜日に「相談会」実施中

「クローバーアート」は、障がいがある方がつくった絵画や工芸、オブジェ等のアート作品を役立てるためのアドバイスやコーディネート、商品デザインを行っています。「クローバーアート」のオリジナルグッズ制作・販売し、売上げの一部を作家さん本人に還元。また、施設の商品として新しいものを考えたり、ラベルやパンフレットに役立ててもらうことで企業とのマッチングを図ったりと、作品や要望に合わせた社会参加のカタチを一緒に考えています。

相談会は毎月開催! まずは気軽に「アートギャラリーよつばんち」に足を運んでみませんか、さまざまなアート作品と一緒にお待ちしています。

河原町アートの日 同時開催

相談会をきっかけに いろいろな商品が生まれています

- オリジナルタンブラー**
お気に入りの作品を使って、「クローバーアート」のオリジナルタンブラーを制作販売。これでご覧になった障がい者職人技が活かされたオリジナルの作品が活躍しているところを知り、施設やアートのタンブラー商品づくりをお手伝いしました。
- 電池せつせん**
「障がい者の声」(障がい者)の「電池のせつせん」に、障がい者の絵画作品を印刷していただきました。電池のせつせんは、障がい者の声に響いてくれる障がい者職人技の作品が活躍しています。
- 石灯り**
天守府(大津市)の石灯り職人がつくった石灯り(オブジェ)と「野鳥園(自治体)」の絵画作品をマッチングさせたオリジナルの「石灯り」を制作販売。おもしろい商品が生まれました。

おめでとう! 河原町アワード2010入賞 「長崎書店ギャラリー」で5月に作品展

毎年10月に行われる河原町のアートの祭典「河原町アワード」で、「クローバーアート」からエントリーした白坪小学校5年(当時)の畠田悠哉さんが「ナガシヤ賞」を受賞しました。今年度の受賞を記念して、5月に上りの「長崎書店」1階のギャラリーで作品展が開催されます。

畠田さんの伸びやかで自由な作品たちは、見てのだけで元気になれるステイチャルアート。期間中は1週間、ぜひ素敵な作品たちに会いに行ってくださいね。

【日時】2011年5月1日(日)～5日(四)
【会場】長崎書店ギャラリー
〒950-0845 長崎市上藤9-23
TEL:096-353-0910 FAX:096-323-2248

【お問い合わせ】
〒950-0845 長崎市上藤9-23
TEL:096-323-0133 FAX:096-354-3037

障がい者アートの 促進のための 無料相談会実施中

河原町アートの日
毎月第2日曜日
アートギャラリーよつばんち
毎月第2日曜日

「クローバーアート」は、障がいがある方がつくった絵画や工芸、オブジェ等のアート作品を役立てるためのアドバイスやコーディネート、商品デザインを行っています。「クローバーアート」のオリジナルグッズ制作・販売し、売上げの一部を作家さん本人に還元。また、施設の商品として新しいものを考えたり、ラベルやパンフレットに役立ててもらうことで企業とのマッチングを図ったりと、作品や要望に合わせた社会参加のカタチを一緒に考えています。

相談会は毎月開催! まずは気軽に「アートギャラリーよつばんち」に足を運んでみませんか、さまざまなアート作品と一緒にお待ちしています。

【日時】毎月第2日曜日 1時～3時(同時開催)
事前に本電話いただく必要があります
【会場】shower art gallery yozubanchi
〒950-0823 長崎市長崎東2
TEL:096-323-0133 FAX:096-354-3037

新しい商品 生まれています

「クローバーアート」のオリジナルグッズ制作・販売。これでご覧になった障がい者職人技が活かされたオリジナルの作品が活躍しているところを知り、施設やアートのグッズ制作・販売をお手伝いしました。

【お問い合わせ】
〒950-0845 長崎市上藤9-23
TEL:096-323-0133 FAX:096-354-3037

障がい者アートの 促進のための 無料相談会実施中

河原町アートの日
毎月第2日曜日
アートギャラリーよつばんち
毎月第2日曜日

「クローバーアート」は、障がいがある方がつくった絵画や工芸、オブジェ等のアート作品を役立てるためのアドバイスやコーディネート、商品デザインを行っています。「クローバーアート」のオリジナルグッズ制作・販売し、売上げの一部を作家さん本人に還元。また、施設の商品として新しいものを考えたり、ラベルやパンフレットに役立ててもらうことで企業とのマッチングを図ったりと、作品や要望に合わせた社会参加のカタチを一緒に考えています。

相談会は毎月開催! まずは気軽に「アートギャラリーよつばんち」に足を運んでみませんか、さまざまなアート作品と一緒にお待ちしています。

【日時】毎月第2日曜日 1時～3時(同時開催)
事前に本電話いただく必要があります
【会場】shower art gallery yozubanchi
〒950-0823 長崎市長崎東2
TEL:096-323-0133 FAX:096-354-3037

新しい商品 生まれています

「クローバーアート」のオリジナルグッズ制作・販売。これでご覧になった障がい者職人技が活かされたオリジナルの作品が活躍しているところを知り、施設やアートのグッズ制作・販売をお手伝いしました。

【お問い合わせ】
〒950-0845 長崎市上藤9-23
TEL:096-323-0133 FAX:096-354-3037

©NPO法人クローバーアート

22年度助成事業の成果

1. 障がい者アートと障がい者アートの拠点としての認知度をさらに高めることができた。
2. 先進事例の研究視察により、作品展示の仕方や製品化について多くの知見を得た。
3. 相談事業を契機に販売促進活動として新製品開発を支援でき、商品開発のノウハウを蓄積できた。

明日を信じて

—障がい者アートの可能性—

独立行政法人文化庁 平成32年度 地域連携大賞受賞 賞状



2020年9月

CLOVER ART

22年度事業報告書の表紙

©NPO法人クローバーアート

2年間の助成事業を通して気付いたこと

私たちの強みと弱み

<強み>

- デザイナー、フォトグラファー、イベントプランナー、ライター、建築家、サラリーマン、OL、学生・主婦 など幅広い年齢層の 多彩な顔触れがそろっている。このため、プロの目で作品を吟味し、活用を図る際に「売れる」商品づくりを志向できる。
- 拠点がまちなかにあり、広く一般社会に訴求できる。
- 障がい者に何かをしてあげるのではなく、共に創ることが楽しいと素直に感じる心と経験を持っている。

<弱み>

- 財政基盤が弱い。
- 福祉の専門家がない。

より多くの機関、個人とつながることが大切！

震災や円高といった厳しい経済環境の中、弱みを克服し、障がい者アートをさらに推進するには、事業としての確立(いつまでもボランティアでは続かない)が必要。そのためにも、より多くの機関、個人と、より堅固なネットワークを築くことが大切だと考えている。

©NPO法人クローバーアート

「助成金が活動を加速」

NPO法人ル・シエルくまもと
理事・事務局長 石津 サヤカ

1 「ル・シエルくまもと」がめざしていること

成人期に達しあるいは近づいているアスペルガー症候群・高機能自閉症の人たちの様々な社会的問題に取り組むための会として『ル・シエルくまもと』を設立。

- アスペルガー症候群・高機能自閉症は周りの人にその症状を理解され難く、さらに障がいとしての制度的谷間にある。
- 幼児、学童においては療育体制の整備、特別支援教育制度の変革により状況は改善されつつあるが、成人においては発達障害者支援法の制定にも関わらず現実的には放置の状況。
- 当事者が安心して外に出かけられる場所がない、家庭で引きこもりの状態となってしまう、これに伴い苦手な対人関係がますます作りにくくなり、就労が極めて困難な現状。

これらの問題に積極的な対応をするために

- 1) 地域社会に当事者が安心して出かけられる場を作っていくこと。
- 2) 地域の様々なグループや支援していただける人たちとのネットワークを作っていくこと。
多くの領域の専門家のみならず社会の中でアスペルガー症候群・高機能自閉症の人の社会参加に理解を示していただける人との関係を求めていくこと。
- 3) 多くの関連部門と連携をとり当事者の就労について考えていくこと。
- 4) 成人となったアスペルガー症候群・高機能自閉症の理解の推進のために自分たち自身の学習と社会に対する啓発活動を行っていくこと。
- 5) これらの問題に対処していくために運営の経済的基盤を確立しつつ継続的な活動を行うためにNPO法人設立をめざしています。（2009年 NPO法人設立趣旨書より）

2 平成 21 年度助成事業の内容と参加者数

講演会

	開催日	内容	参加者数
第 1 回	H21/6/7	「成人期のアスペルガー障害 —それぞれの違いと支援のあり方—」 はっとり心療クリニック院長 服部 陵子 先生	220 人
第 2 回	H22/2/14	「アスペルガー症候群・高機能自閉症の人たちの就労支援」 横浜市発達障害者支援センター 柴田 珠里 先生	84 人
			計 304 人

サポーター養成講座

	開催日	内容	参加者数
第 1 回	H21/4/19	「若い人の就職活動の現状と課題」 くまもと若者サポートステーション センター長 福原 和美 氏	40 人
第 2 回	H21/7/5	「発達障害をかかえた子どもたち —欠かせぬ周囲の理解と支援—」 土井ホーム代表・博士(学術) 土井 ^{たかのり} 高德 先生	170 人
第 3 回	H21/8/1	「アスペルガー・高機能自閉症の人の作業所『アベル』の活動」 特定非営利活動法人アベル 理事長 永柄 恵子 氏	67 人
第 4 回	H21/8/26	「福岡、アベル高取見学&交流会」	27 人
第 5 回	H21/9/26	「済生会熊本福祉センターの実践と課題 ～一人ひとりが主体者として働くために～」 済生会熊本福祉センター 所長 長濱 朋二 氏	41 人
第 6 回	H21/11/8	「高機能自閉症スペクトラム障害のある人のグループ活動と就労問題」 NPO法人アスペの会石川 サブディレクター 田中 早苗 先生	71 人
第 7 回	H21/12/5	「親子パソコン教室 —年賀状を作ってみよう—」 NPO法人アイネットワークくまもと 村上 栄基 氏	12 人
第 8 回	H21/12/19	「2008年英国自閉症協会の国際学会を見学してきました」 熊本県こども総合療育センター 小児科医 山田 みどり 先生	29 人
第 9 回	H22/3/3	「お母さんや親たちに話したいことがあります！」 当事者本人から聞く話	18 人
第 10 回	H22/3/6	「薬の話」 熊本市薬剤師会くまもと東部薬局 薬局長 米田 喜美子 先生	18 人
			計 493 人

3 現在の活動状況について

- 平成 22 年度

- **【生活支援事業】**

- お母さんが困った時に助けるための料理会 6 回実施

- **【就労支援事業】**

- ・裂き織事業 週 3 日 10 ヶ月
- ・フリーマーケット参加 2 回 3 日間
- ・講演会手伝い

- **【相談事業】**

- ・相談会・勉強会 月 2 回 23 回
- ・電話相談

- **【啓発・育成事業】**

- ・講演会開催 1 回

- 服部 陵子先生講演会（はっとり心療クリニック院長）

- 「成人のアスペルガー障害の理解と支援 —成人期の生きにくさについて—」

- 平成 23 年度

- 今年度決定の助成金とその内容

- ◇ グリーンコープくまもと福祉活動組合員基金から 家賃・水光熱費助成
- ◇ 三村記念基金から 裂き織加工技術向上のための講習会 7 回へ助成
- ◇ 熊本県社会福祉振興基金助成事業から 機織り道具の購入へ助成
- ◇ WAM社会福祉振興助成事業から アスペルガー障害の人への就労前支援事業へ助成
- ◇ 就労前支援（訪問支援）・講演会・染織研修バス旅行

4 まとめ

- WAM助成金が活動に及ぼしたこと

- ◇ チームワークが重要
- ◇ きっちりした会計の知識と能力が必要
- ◇ 会計・報告の項目が多く、会計と事務担当の負担は大きい
- ◇ ヒアリングの際、スタッフ全員で受けて良かった

- 大切と感じた小さな気付き

- ◇ 連続の講座や講演会で幅広い分野からの参加と会員の増加
- ◇ 「理解と支援」の拡がり
- ◇ 他団体の信頼を得て、活動が広がる
- ◇ スタッフの結束と役割分担で活動力が増強